

外来種のアカミミガメ（通称:ミドリガメ）は、そこに暮らす植物や動物に影響を与えることが心配されています。そこで、三方五湖の生態系を守るため、アカミミガメの一斉捕獲を行います。みなさまのご参加をお待ちしております。

日 時：令和7年5月25日（日）

9時30分～12時30分（受付は9時00分から）

観察場所：三方湖沿岸

集合場所：若狭三方縄文博物館

対象：どなたでも（小学生以下は保護者同伴参加）

定員：30名 ※事前予約が必要です。

受付期間：5月2日（金）～5月16日（金）

※電話受付は、平日8時30分から17時15分

持ち物：汚れてもよい服装、帽子、長靴、水筒、  
着替え、タオル、軍手、雨具

参加費：無料

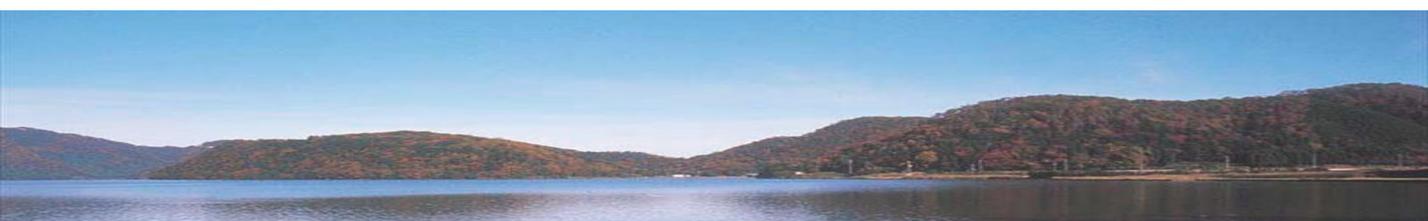
その他：荒天中止の場合のみ前日夕方に連絡します。

主催：三方五湖自然再生協議会 外来生物等対策部会



受付・問合せ先：若狭町環境安全課（外来生物等対策部会）

TEL：0770-45-9126 FAX：0770-45-9113



## 昨年(令和6年)のアカミミガメ一斉捕獲結果です。



当日の参加者は、16名でした。  
はじめに、大学の先生や海浜自然センターの職員の方からアカミミガメや三方五湖に生きる生き物のお話を聞きます。



つぎに、三方湖に出て、事前に設置されているワナ(25個)を参加者の皆さんで回収してもらいます。  
外来種であるアカミミガメの他にも、色々な生き物が捕獲されることもあります。



最後に、捕まえたアカミミガメの重量や甲長を計測します。  
昨年(令和6年)の一番大きなアカミミガメは、重量約1.2キロ、22センチの大きさでした。

参加者の皆さんに三方湖で回収してもらったワナの中にはアカミミガメ4匹のほか、ウシガエルも見つかりました。  
この日のために、水月湖や菅湖にもワナを21個設置しており、外来生物等対策部会員の皆さんに回収してきてもらいました。そのワナの中にはテナガエビやモクズガニが見つかりました。